長瀞町 DX 推進計画

はつらつ長瀞 DX

― 自然とともに、デジタルとともに、未来へつなぐまちづくり ―

令和 8 年 4 月

長瀞町

1. DX 推進計画の背景・目的 - 2 -
社会的な背景 - 2 -
国の動き - 2 -
県の動き - 3 -
町の動き - 3 -
2. DX 推進計画の位置づけ - 6 -
3. DX 推進計画の期間 - 6 -
4. DX 推進計画の推進体制 - 7 -
5. 進行管理 - 7 -
6. DX 推進計画のビジョン - 8 -
はつらつ長瀞 DX　— 自然とともに、デジタルとともに、未来へつなぐまちづくり — - 8 -
7. 基本方針① - 9 -
安心して利用できるデジタル環境づくり - 9 -
8. 基本方針② - 10 -
誰もが使いやすい行政サービスの実現 - 10 -
9. 基本方針③ - 11 -
住民サービスの質を高める行政運営の DX(業務改革) - 11 -
10. 用語集 - 12 -

1. DX 推進計画の背景・目的

社会的な背景

近年、ICT（情報通信技術）は急速に進展し、私たちの暮らしや社会活動に不可欠な基盤となっています。行政分野においても、デジタル技術の活用は、住民の利便性向上や地域課題の解決において重要な役割を果たしています。

特に、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機として、テレワークやオンラインサービス、キャッシュレス決済などが急速に普及し、暮らしや働き方は大きく変化しました。一方で、紙や対面を前提とした行政手続や業務慣行により、行政分野におけるデジタル化の遅れが明らかとなり、業務やサービスの在り方を見直す必要性が高まっています。

また、少子高齢化と人口減少の進行により、限られた人材・財源の中で、安定的かつ持続可能な行政運営を行うことが一層求められています。従来と同様の体制や業務手法を前提とした行政運営には限界があり、業務の効率化や省力化が不可欠です。

このような背景を踏まえ、業務プロセスや行政サービスの在り方を見直し、住民一人ひとりのニーズに応じた、分かりやすく利便性の高い行政サービスを実現していくことが求められています。

なお、本計画における DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、デジタル技術やデータも活用し、行政の業務やサービスの在り方を見直すことで、住民の暮らしや行政運営をより良いものへと変えていく取組をいいます。

国の動き

国においては、デジタル技術の進展や新型コロナウイルス感染症の拡大を契機として顕在化した行政の課題を踏まえ、デジタル社会の実現に向けた制度整備と取組を段階的かつ強力に進めてきました。

令和元年の「デジタル手続法」の成立により、行政手続の原則オンライン化が示され、令和 2 年には「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」が閣議決定されました。ここでは、「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を基本理念として掲げ、デジタルの力を活用した社会全体の変革を目指すこととされています。

あわせて策定された「自治体 DX 推進計画」では、市区町村が住民に最も身近な行政主体として DX を推進する重要な役割を担うことが明確にされ、業務改革や住民サービスの変革を含めた DX の方向性が示されました。

さらに、令和 3 年にはデジタル庁が設置され、地方公共団体情報システムの標準化・共通化、マイナンバーカードの活用促進、データ利活用の推進など、自治体 DX を支える制度・基盤整備が進められています。

このように国は、自治体が主体的に DX を推進することを前提に、制度面・基盤面の整備を進めており、市町村においても、国の方針を踏まえた計画的な DX 推進が求められています。

県の動き

埼玉県においては、国の方針を踏まえ、県全体の DX を体系的かつ計画的に推進しています。県は、「埼玉県デジタルトランスフォーメーション推進計画（第２期 R6～R8）」を策定し、「社会全体のデジタルトランスフォーメーションの実現による、快適で豊かな真に暮らしやすい新しい埼玉県への変革」を将来像として掲げ、人口減少や高齢化が進行する中においても、誰一人取り残されない持続可能な社会の実現を目指しています。

この将来像の実現に向け、県では DX ビジョンおよびロードマップを策定し、行政手続のオンライン化、データ利活用の推進、アナログ規制の見直し、人材育成などの取組を進めています。あわせて、市町村との連携・支援を通じ、地域の特性に応じた DX の推進を図っています。

このように県は、明確な方向性のもとで DX を推進しており、市町村においても、県の施策と連携しながら DX に取り組むことが求められています。

町の動き

本町を取り巻く現状

本町は、人口規模が約 6,200 人の小規模自治体であり、高齢化率が高いという特徴を有しています。今後も人口減少や高齢化の進行が見込まれる中、限られた職員体制で、多様化・高度化する行政ニーズに対応していく必要があります。

これまでのデジタル化の取組

本町では、これまで全庁的な DX 推進計画は策定していませんでしたが、窓口業務における負担軽減や住民の利便性向上を目的として、「書かない窓口」の導入を進めるなど、個別分野においてデジタル技術の活用に取り組んできました。また、マイナンバーカードを活用した一部申請のオンライン化も行っています。

しかしながら、これらの取組は、特定の業務や分野に限定されたものであり、全庁的な視点での業務改革や、住民サービスの在り方を抜本的に見直すまでには至っていないのが現状です。

行政運営上の課題の顕在化

こうした状況の中で、本町の行政運営においては、いくつかの課題が顕在化しています。

例えば、行政手続において、住民が同じ情報を何度も記入・提出する必要があるなど、住民・職員双方にとって負担の大きい業務が残っています。また、業務が個々の職員の経験や知識に依存する属人化の傾向が見られるほか、各課同士の情報共有や連携が十分とは言えない状況もあります。

加えて、日常業務に追われる中で、新たな取組や業務改善に十分な時間を確保することが難しく、結果として従来の業務のやり方が踏襲されやすい構造となっています。これらの課題を放置したままでは、将来的に行政サービスの質の低下や職員負担の増大につながるおそれがあります。

町民アンケートから見えるニーズと期待

　こうした状況を踏まえ、本町では令和７年７月に町民アンケートを実施し、デジタル機器の利用状況や行政サービスに対する意向を把握しました。

アンケート概要

実施期間	令和7年7月16日～8月15日
対象者	長瀞町民※広報紙・HP掲載しアンケート実施した為、一部町外者も含む
回収数	138件※内3件 紙回答
調査方法	役場内及び出先機関での配布、広報誌、回覧板、HP掲載（WEBアンケートフォームを利用）
アンケート内容	• 基本情報 • デジタル機器・サービスの利用状況 • 行政情報の入手手段 • デジタル化に関する意識・意見

　その結果、スマートフォンやパソコンを日常的に利用している住民が多く、インターネットやSNS、オンラインサービスが生活に浸透しており、デジタル化に前向きであることが確認されました。

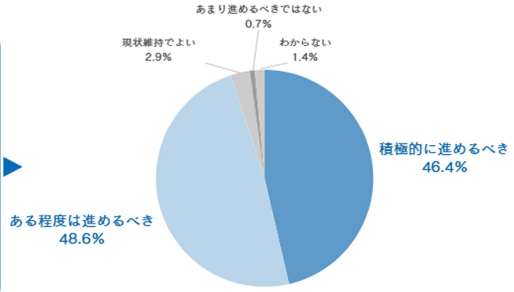
長瀞町がデジタル化を進めることに対する意識

Q.町が今後デジタル化を進めることについて、どのようにお考えですか。

回答	人数
積極的に進めるべき	64
ある程度は進めるべき	67
現状維持でよい	4
あまり進めるべきではない	1
わからない	2

回答者の**肯定派**

95%

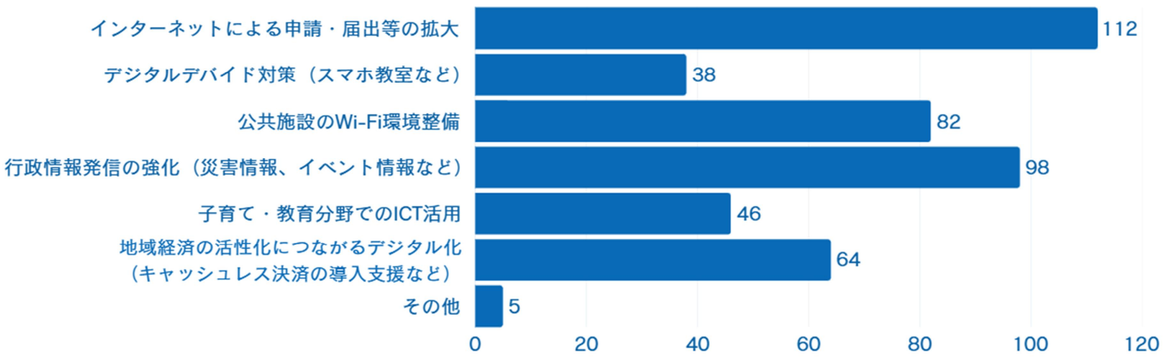


結果　回答者の95%が「積極的に進めるべきorある程度は進めるべき」と回答しており、DXを進めることに対して前向きな意識が伺えます

また、今後の町のデジタル化に対しては、オンライン申請の拡充や行政情報発信の強化、子育て・教育分野での ICT 活用、デジタルデバイド対策などへの期待が寄せられました。

期待する町のデジタル化施策

Q.あなたが期待する町のデジタル化施策について、当てはまるものをすべてお選びください。



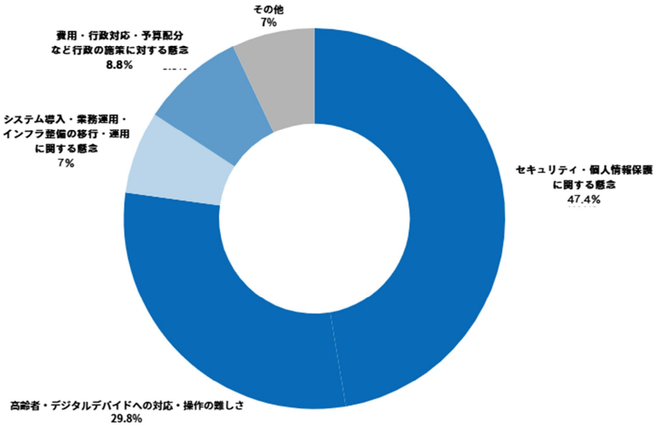
※その他の回答：回答なし(3件)、「ライドシェア 、AR観光案内、完全自動運転バス」、「LINEやメールなどにより回覧板の廃止。その他、区費などについてもPayPayや銀行振込など担当者が一軒一軒家を回るなんてことはしないで済むようなしてもらいたい。時代錯誤も甚しい。このようなことをアピールすることで外部からも移住者を呼び込む宣伝にもなると思う」

結果 オンライン申請・届出への期待や、行政情報発信のデジタル化への関心が伺えます

一方で、デジタル化に対する不安や懸念の声もあり、誰もが安心して利用できる環境づくりの重要性が示されています。

町のデジタル化で不安に感じることや心配なこと

Q.町のデジタル化で不安に感じることや心配なことについて、ご記入ください。



カテゴリ	件数
セキュリティ・個人情報保護に関する懸念	27
高齢者・デジタルデバイドへの対応・操作の難しさ	17
システム導入・業務運用・インフラ整備の移行・運用に関する懸念	4
費用・行政対応・予算配分など行政の施策に対する懸念	5
その他	4

※なし及び空欄は78件でした。

これらの結果から、住民生活においてはデジタルが既に浸透している一方、行政サービスにおけるデジタル活用には、なお改善の余地があることが明らかとなりました。

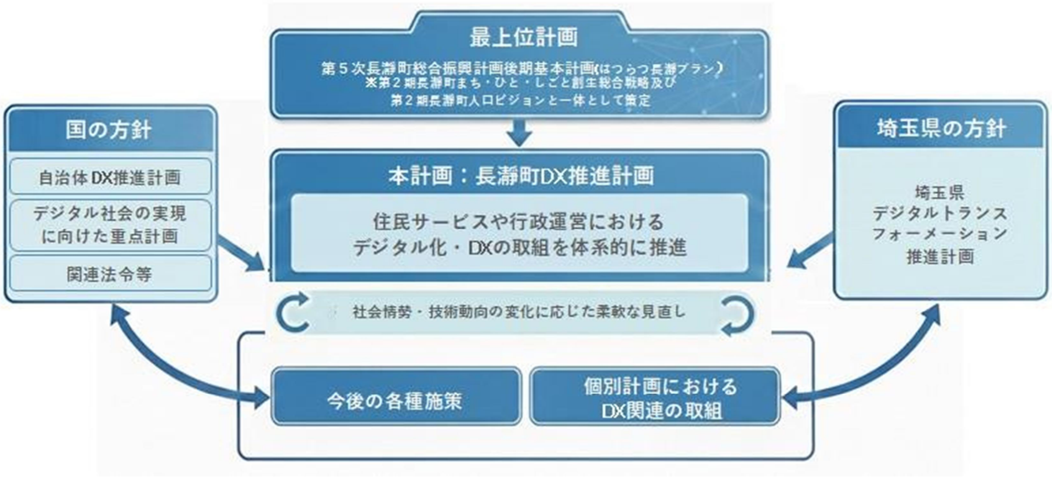
このような国・県の動向、本町を取り巻く現状及び町民ニーズを踏まえ、本町においても、デジタル技術も活用した業務改革と住民サービスの向上を一体的かつ計画的に推進するため、DX 推進計画を策定することとしました。

2. DX 推進計画の位置づけ

本計画は、本町の最上位計画である「はつらつ長瀞プラン(第 5 次長瀞町総合振興計画後期基本計画※第 2 期長瀞町まち・ひと・しごと創生総合戦略及び第 2 期長瀞町人口ビジョンと一体として策定)」に掲げる将来像や施策の実現に向け、行政運営及び住民サービスにおけるデジタル化・DX の取組を体系的に推進するための分野別計画として位置づけます。

策定にあたっては、国の「自治体 DX 推進計画」や「デジタル社会の実現に向けた重点計画」等の方針、並びに埼玉県の「埼玉県デジタルトランスフォーメーション推進計画」との整合を図り、本町の実情や課題を踏まえた内容としています。なお、地方公共団体情報システムの標準化・共通化等については、国の方針に基づく対応を概ね完了しており、引き続き、適正な運用と見直しを行います。

本計画は、行政事務の効率化や住民サービスの維持・向上、職員の働き方改革等をデジタル技術の活用により推進するための基本的な方向性と取組を示し、今後の各種施策や個別計画における DX 関連の取組の指針とします。



3. DX 推進計画の期間

本計画の期間は、令和 8 年度から令和 12 年度までの 5 年間とし、まずは実行可能な取組から着実に推進していくこととします。あわせて、国・県の動向や町の状況の変化を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行いながら、継続的な改善を図ります。

年度	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
総務省(国) 自治体DX推進計画				令和7年度(1月)～令和12年度						
埼玉県デジタルトランスフォーメーション推進計画			令和6年度～令和8年度							
はつらつ長瀞プラン (第５次長瀞町総合振興計画後期基本計画)	令和4年度～令和8年度									
長瀞町DX推進計画					令和8年度～令和12年度					

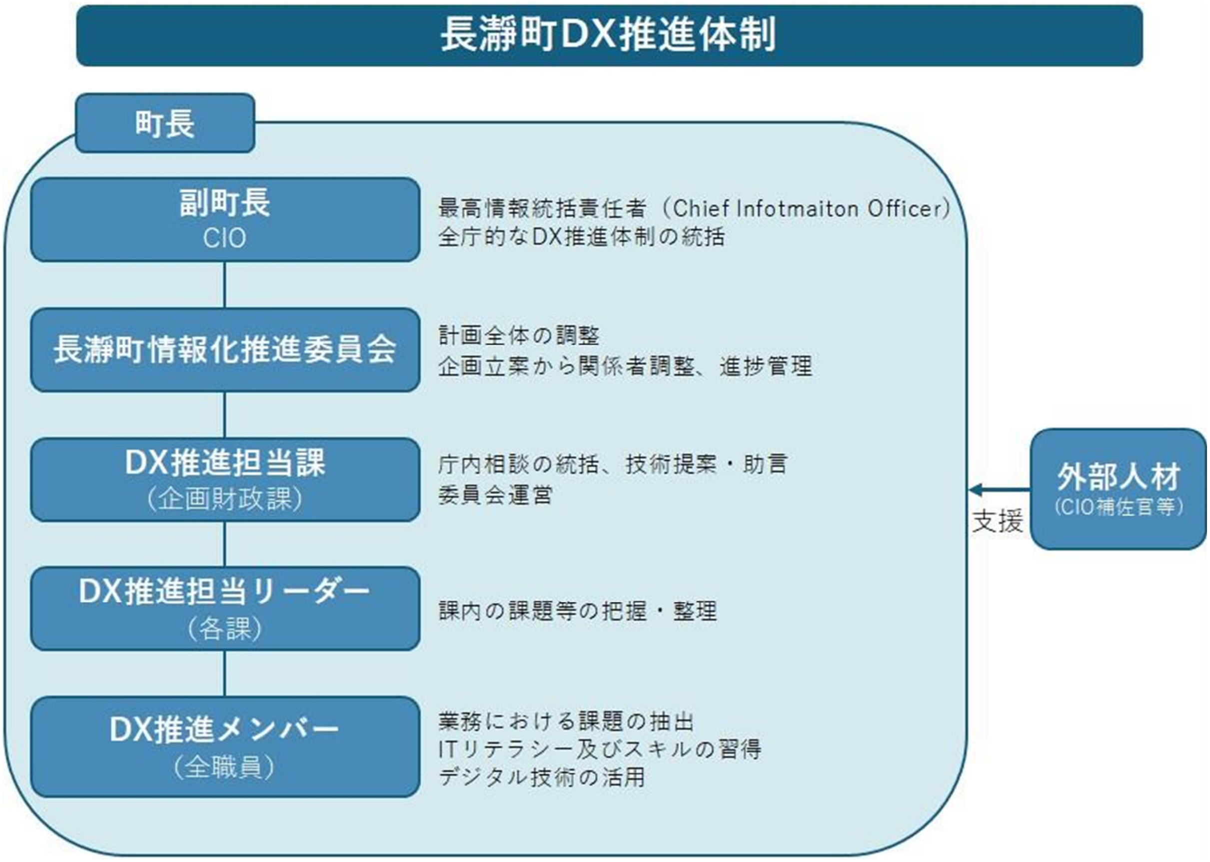
4. DX 推進計画の推進体制

本計画を着実に推進するため、本町では、町長のリーダーシップのもと、副町長を CIO（最高情報責任者）として位置づけ、全庁横断的な DX 推進体制を構築します。

DX は特定の課のみで完結するものではなく、各分野の業務や住民サービスに関わる取組であることから、各課が主体的に参画し、連携・協力しながら推進していくことが不可欠です。そのため、計画の推進にあたっては、施策の目的や必要性を共有し、現場の課題や意見を反映させながら取り組みます。

具体的には、副町長（CIO）を中心に、全課長職級を構成員とする長瀞町情報化推進委員会を設置し、本計画の推進体制を整備します。併せて、DX 推進担当課である企画財政課が進行管理を行うとともに、各部署に DX 推進リーダーを置き、デジタル化に係る現場課題の整理や情報共有を行います。

さらに、必要に応じて外部の専門人材の知見を活用し、計画の実効性を高めていきます。



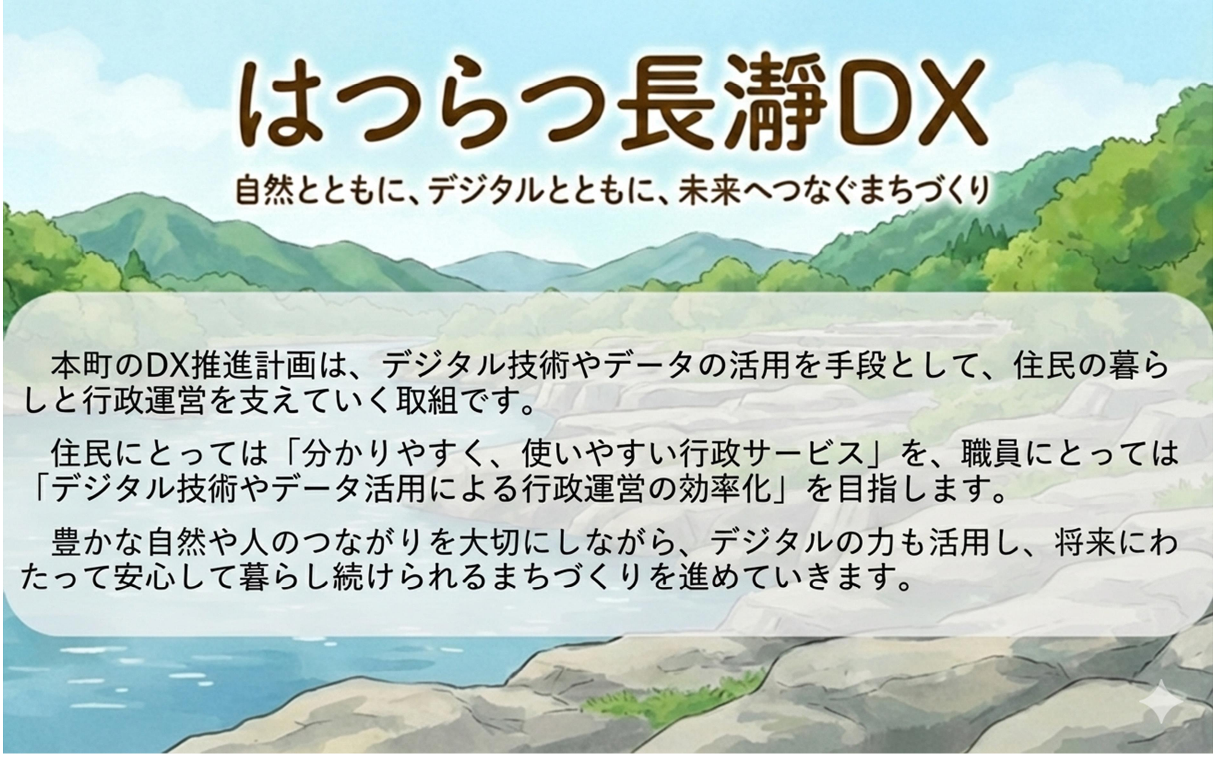
5. 進行管理

本計画の取組については、年度ごとに進捗を確認し、評価・改善を行います。町情報化推進委員会において取組状況を共有し、課題の整理、優先順位の見直し、次年度計画への反映を通じて、継続的な改善を図ります。

6. DX 推進計画のビジョン

はつらつ長瀞 DX

― 自然とともに、デジタルとともに、未来へつなぐまちづくり ―



※生成 AI(Gemini)で生成した画像
本ページのイラストは生成 AI を用いて作成しています。本文の内容は町が作成しています。

7. 基本方針①

安心して利用できるデジタル環境づくり

【現状と課題】

デジタル化の進展により利便性が高まる一方で、情報セキュリティや個人情報の取扱いに対する不安の声があがっています。また、利用環境や操作スキルの違いにより、デジタルサービスの利用に差が生じています。さらに、行政内部においても、デジタル技術やデータを適切に活用し、住民サービスの向上につなげられる人材の育成が求められています。

【目指すべき姿】

情報セキュリティを確保し、誰もが安心してデジタルサービスを利用できる環境を整えます。あわせて、住民への支援体制の充実と職員の育成を通じて、デジタル技術を効果的に活用できる町を目指します。

【具体的な取組】

- ✧ 情報セキュリティ対策の徹底
- ✧ 住民向けデジタル技術利用支援（デジタルデバイド対策）
- ✧ DX を担う職員の育成

【取組期間】

令和 8 年度から令和 12 年度まで、体制整備と併せて継続的に取り組みます。

年度	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
情報セキュリティ対策の徹底	技術的対策の強化、運用・人的対策の徹底				
住民向けデジタル技術利用支援（デジタルデバイド対策）	データ活用に向けた整理・検討		住民向けデジタル利用支援の実施		
DXを担う職員の育成	職員向けの基礎的なデジタル研修の実施		データ活用を意識した業務の実践		

8. 基本方針②

誰もが使いやすい行政サービスの実現

【現状と課題】

行政サービスの利用にあたっては、制度や業務ごとに方法や窓口が異なり、住民にとって「どこで・何を・どのように行えばよいか」が分かりにくい場合があります。また、紙や対面を前提とした仕組みでは、来庁や現金での支払いが必要となる場面も少なくありません。

【目指すべき姿】

住民が必要な情報に迷わずたどり着き、自分に合った方法で利用できる、分かりやすく使いやすい行政サービスを目指します。その実現に向け、行政サービスの提供方法や手続きの流れを見直し、デジタル技術も活用しながら改善に取り組みます。

【具体的な取組】

✧ 住民ニーズに応じた情報提供
✧ 行政手続きのオンライン化
✧ スマート窓口の実現
✧ キャッシュレス・モバイル決済対応の拡大

【取組期間】

令和 8 年度から令和 12 年度まで、段階的に実施します。

年度	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
住民ニーズに応じた情報提供	現状分析・サービス導入検討	住民ニーズに応じた情報提供の充実			
行政手続きのオンライン化		主要行政手続きオンライン化段階的に開始		オンライン手続きの対象拡大・利便性向上	
スマート窓口の実現		フロントヤード改革の推進			
キャッシュレス・モバイル決済対応の拡大		キャッシュレス・モバイル決済対応の拡大の検討		キャッシュレス・モバイル決済対応の拡大	

9. 基本方針③

住民サービスの質を高める行政運営のDX(業務改革)

【現状と課題】

限られた職員数の中で兼務により行政運営を行っている一方、紙を前提とした申請・決裁・台帳管理等により処理に時間を要し、場所に縛られた非効率な働き方が生じています。また、業務の進め方が担当や部署により異なる場面もあり、引継ぎや繁忙期対応に一定の時間を要しています。このままでは、施策の企画・改善に充てる時間が確保しにくく、住民サービスの質の維持・向上が難しくなります。

【目指すべき姿】

業務の進め方そのものを見直し、デジタル技術を活用し、柔軟な働き方も取り入れながら事務処理を効率化することで、限られた人材でも安定的に業務を行い、住民サービス向上の取組を継続的に推進できる行政運営を目指します。

【具体的な取組】

- ✧ AI(人工知能)・RPA(定型作業の自動化)による業務支援
- ✧ 行政文書のペーパーレス化
- ✧ テレワークの推進
- ✧ BPR(業務改革)の推進

【取組期間】

令和8年度から令和12年度まで、業務特性に応じて順次実施します。

年度	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
AI・RPAによる業務支援	一部業務にてAI活用(試行) →		AIの活用範囲拡大・RPAによる業務自動化の検討 →		
行政文書のペーパーレス化	現状分析・ サービス導入 検討 →	行政文書の電子化・ ペーパーレス化の推進 →			
テレワークの推進		導入に向けた環境整備 →		テレワークの推進 →	
BPRの推進	現状分析・一部業務のBPR実施 →	BPR対象業務の拡大・業務手順の標準化 →			

10.用語集

デジタル技術

コンピューターやインターネット、ソフトウェアなどを活用した技術の総称で、行政サービスのオンライン化や業務の効率化などに用いられる。

ICT（情報通信技術）

Information and Communication Technology の略で、インターネットや通信技術、情報処理技術など、情報をやり取り・活用するための技術の総称。

行政手続のオンライン化

これまで役場の窓口で行っていた申請や届出などを、インターネットを通じて行えるようにすること。

BPR（業務改革）

Business Process Re-engineering の略で、単にデジタル化するだけでなく、業務の流れそのものを見直し、より効率的な形に再構築すること。

スマート窓口

デジタル技術を活用し、申請書の記入支援や手続の簡素化などにより、来庁時の待ち時間や手間を減らす窓口の仕組みのこと。

キャッシュレス決済

現金を使わず、クレジットカードやスマートフォンなどで支払いを行う方法のこと。

AI（人工知能）

Artificial Intelligence の略で、人の判断や作業を支援する技術のこと。行政では、業務の効率化や省力化などに活用される。

RPA

Robotic Process Automation の略で、パソコン上の定型的な作業を自動で行う仕組みのこと。

テレワーク

職員が庁舎以外の場所から、情報通信技術を活用して業務を行う働き方のこと。

データ活用

業務やサービスの改善に役立てるため、情報や記録を整理・分析して活用すること。

長瀞町デジタル化に関する
アンケート調査結果

企画財政課

令和7年8月20日

目次

01 はじめに-アンケート概要-

02 回答者属性

03 普段利用している情報機器

04 インターネットを利用する目的/よく利用するSNS

05 利用している決済方法/今後利用できるようにしてほしい決済方法

06 自治体の情報を入手する手段

07 長瀞町がDXを進めることに対する意識/期待する町のデジタル化施策

08 町のデジタル化で不安に感じることや心配なこと/ご意見やご要望

CONTENTS

01

はじめに

アンケート概要

実施期間	令和7年7月16日～8月15日
対象者	長瀞町民※広報紙・HP掲載しアンケート実施した為、一部町外者も含む
回収数	138件※内3件 紙回答
調査方法	役場内及び出先機関での配布、広報誌、回覧板、HP掲載（WEBアンケートフォームを利用）
アンケート内容	• 基本情報 • デジタル機器・サービスの利用状況 • 行政情報の入手手段 • デジタル化に関する意識・意見

CONTENTS

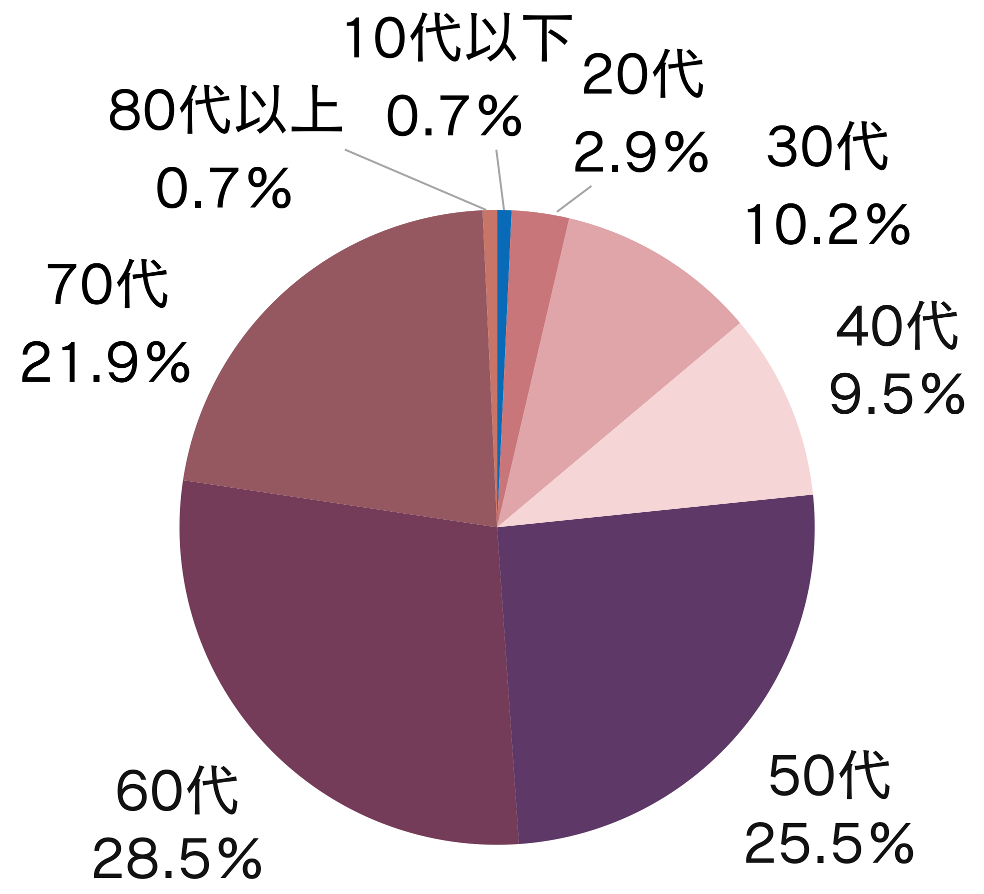
02

基本情報

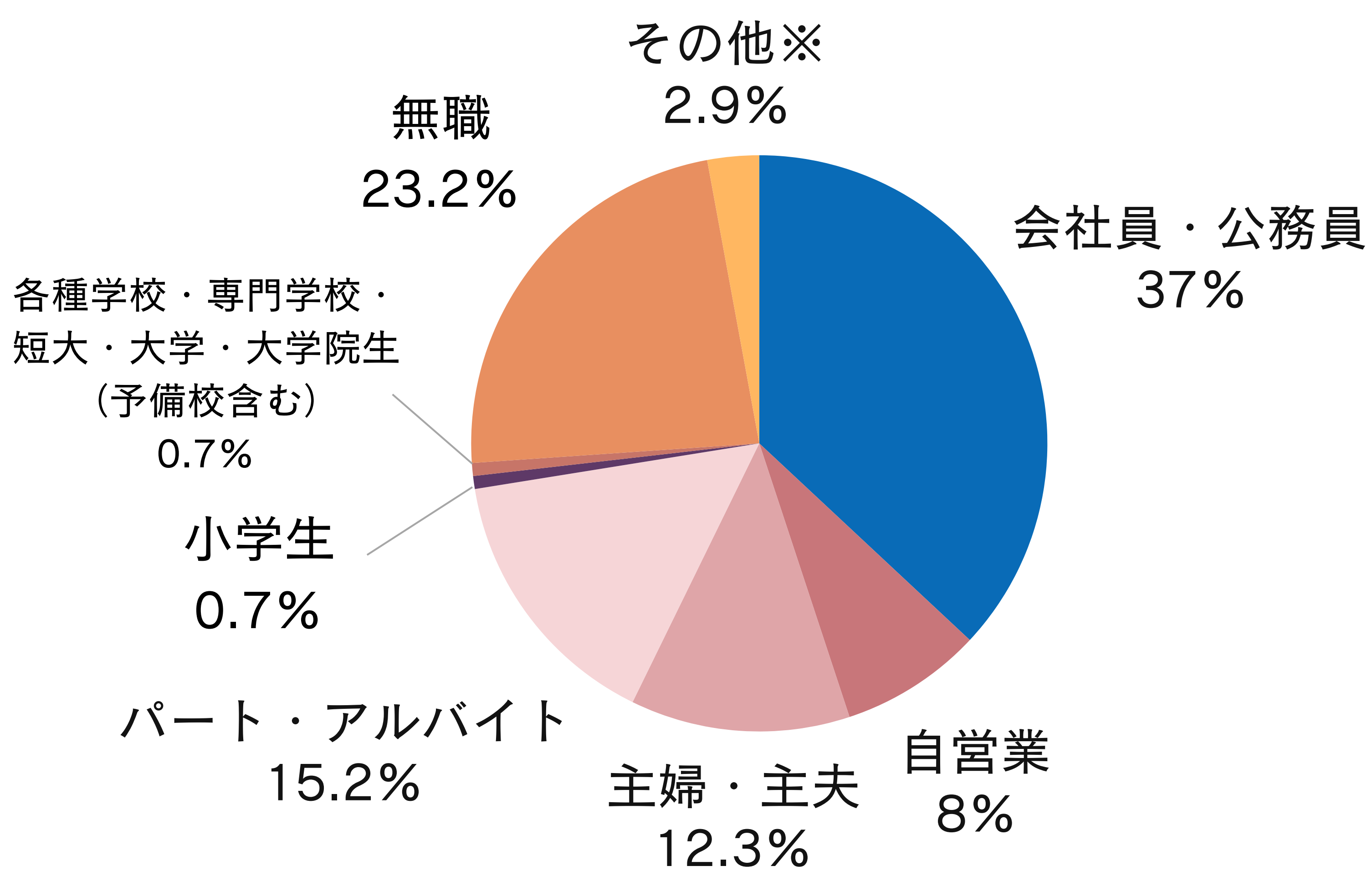
回答者の属性について

Q.ご年齢、ご職業等、お住まいの地域を教えてください。

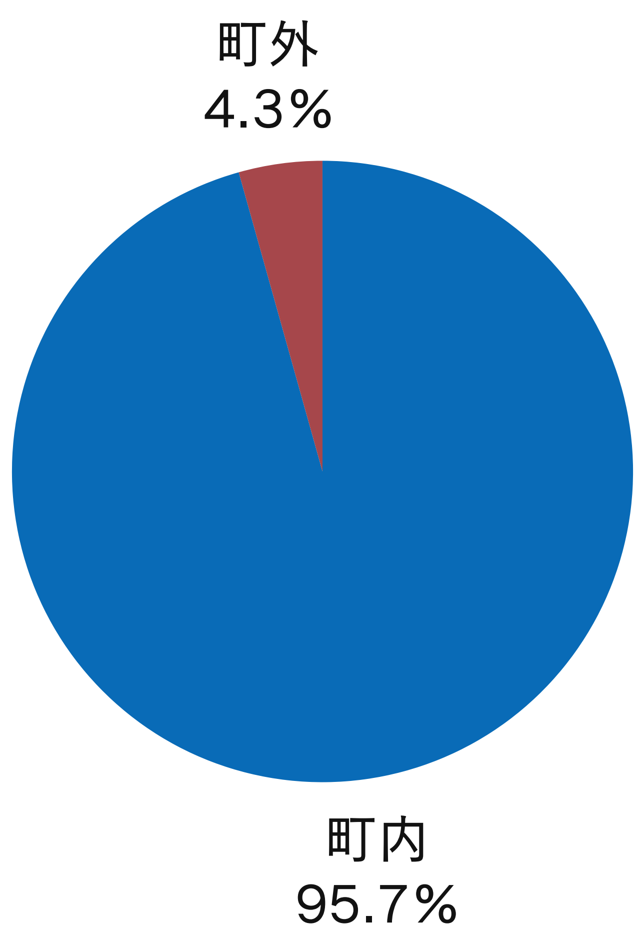
年齢層



ご職業等



お住まいの地域



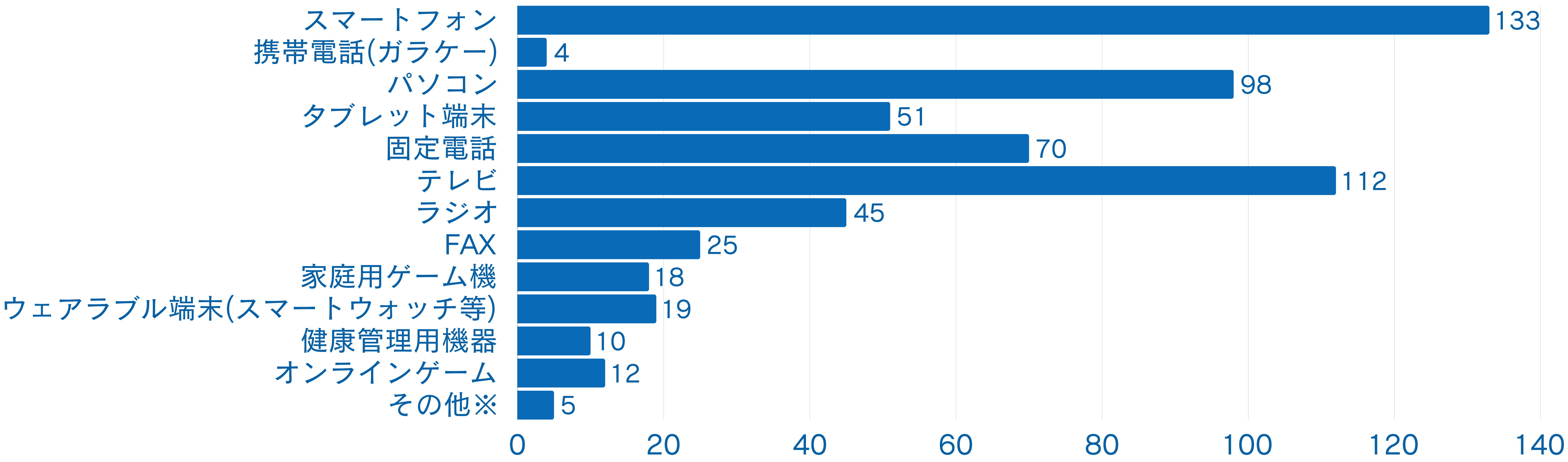
※その他の回答：団体職員、シルバー人材、フリーランス、個人事業主

CONTENTS

03

普段利用している情報機器

Q.普段利用している情報通信機器について、当てはまるものをすべてお選びください。

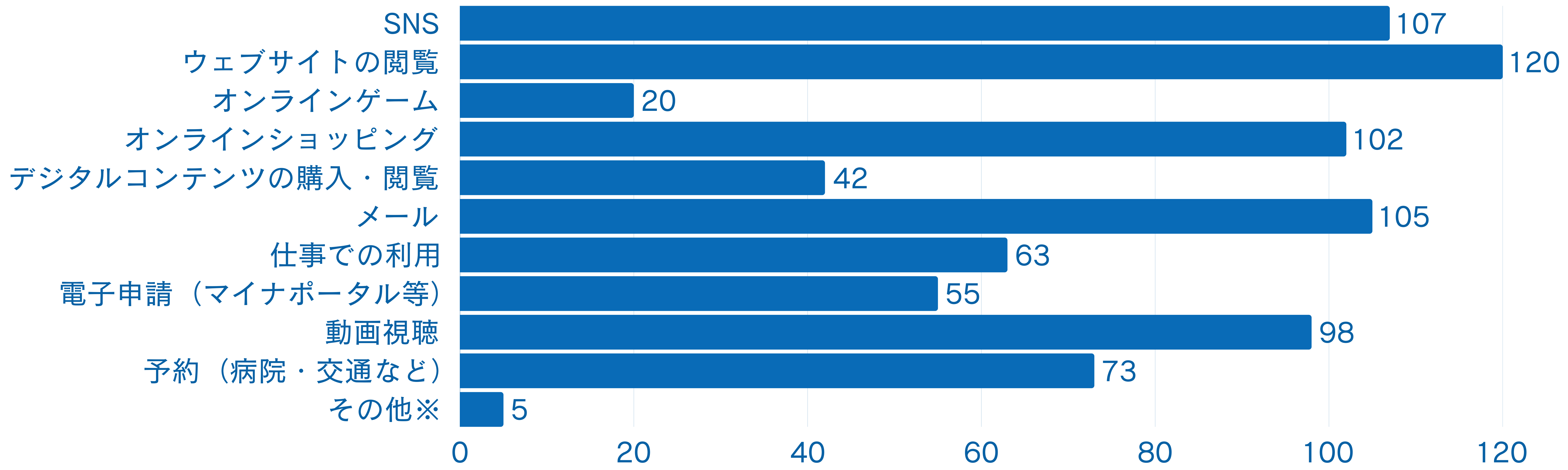


※その他の回答：回答なし(2件)、「アレクサ」、「スマートテレビ」、「『オンラインゲーム』は次の設問の選択肢で、こちらからは消したほうがよいのではないでしょうか」

結果 回答者の96.4%が「スマートフォン」を利用していると回答しています

CONTENTS
04
インターネットを利用する目的

Q.インターネットを利用する主な目的について、当てはまるものをすべてお選びください。



※その他の回答：回答なし(3件)、「証券及び為替取引」、「年齢層に『選択しない』があるなら、必須でよいのではないでしょうか」

結果

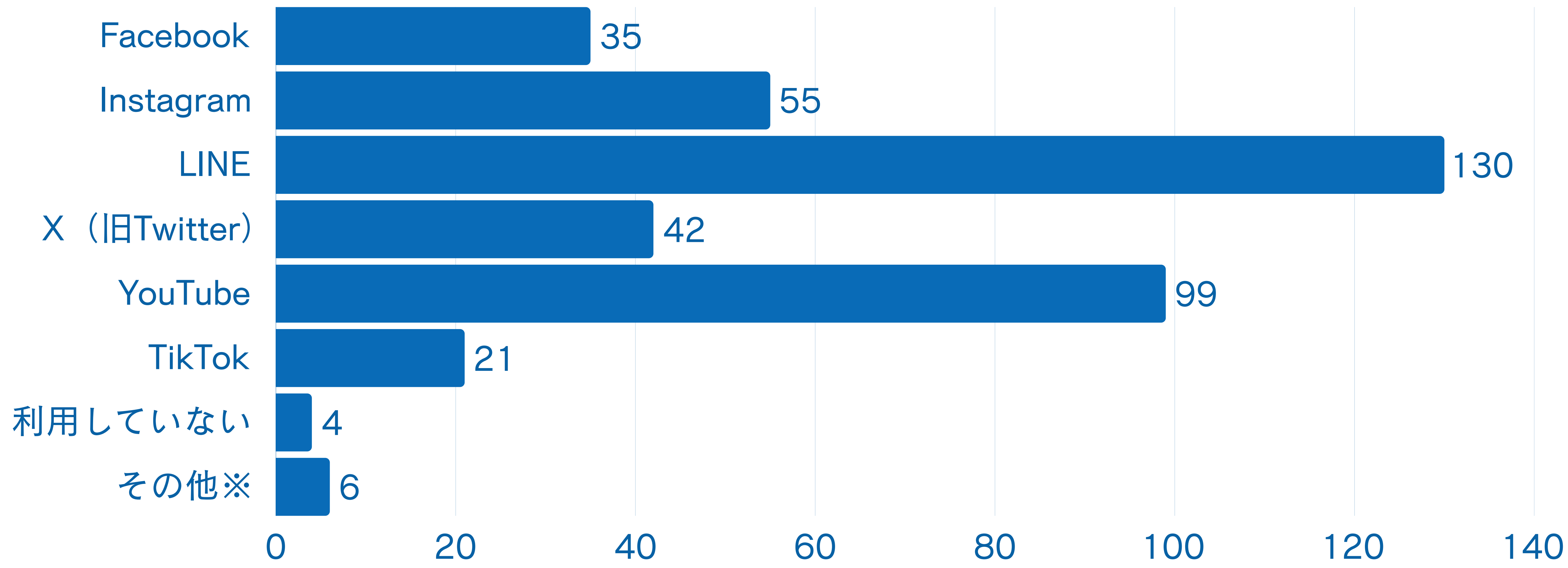
回答者のインターネット利用は特定の用途に偏る傾向は見られず、ウェブ閲覧、メール、SNSなど幅広い用途に日常的に活用されています

CONTENTS

04

よく利用するSNS

Q.インターネットを利用する主な目的について、当てはまるものをすべてお選びください。



※その他の回答：回答なし、「whatsapp」、「Threads」、「ポコチャ」、「微博」、「この設問が必須となっています」

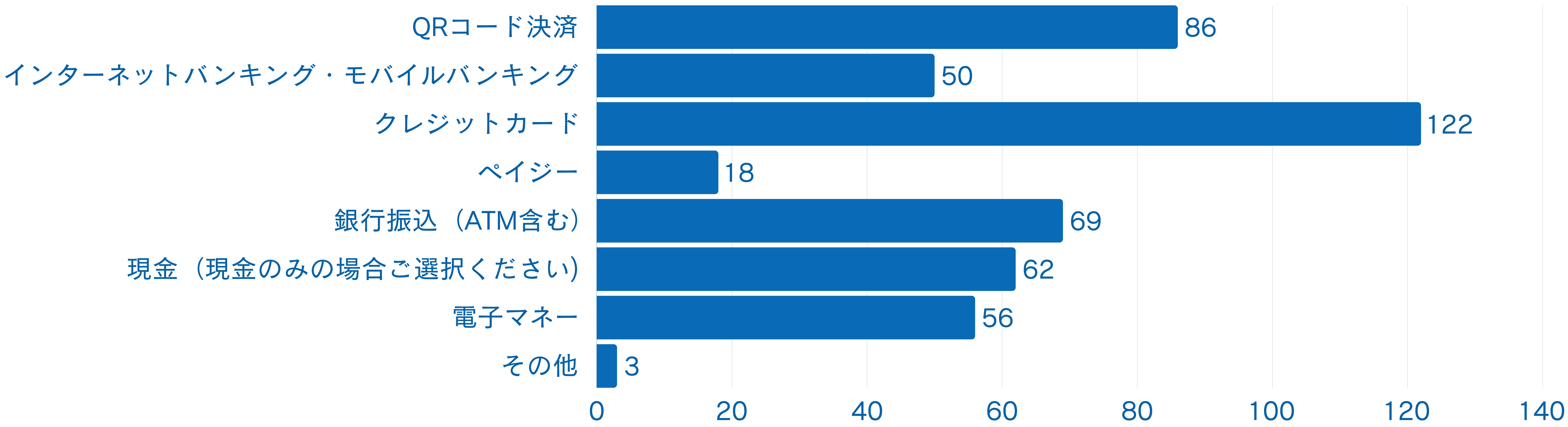
結果 回答者が最も日常的に利用しているSNSはLINEであり、次いでYouTubeという結果となりました

CONTENTS

05

利用している決済方法

Q.現在利用している決済方法について、当てはまるものをすべてお選びください。



※その他の回答：回答なし(2件)、「コンビニレジ支払」

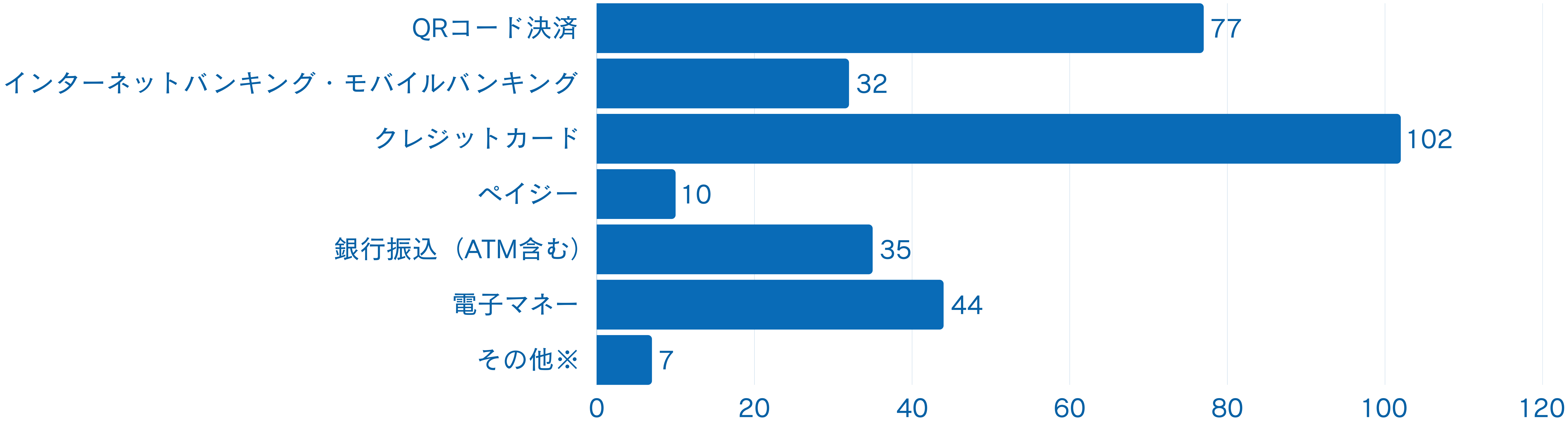
結果 現金のみの回答者は約半数以下であり、最も多い回答はクレジットカード決済という結果となりました

CONTENTS

05

今後利用できるようにしてほしい決済方法

Q.今後、行政手続きでの支払いで利用できるようにして欲しい思う決済方法について、当てはまるものをすべてお選びください。



※その他の回答：回答なし(2件)、「別に無い」、「現金」、「現金こそ至高」、「中央労働金庫も対象銀行にお願いします」、「コンビニ対応請求書払（一部未対応のもの）」

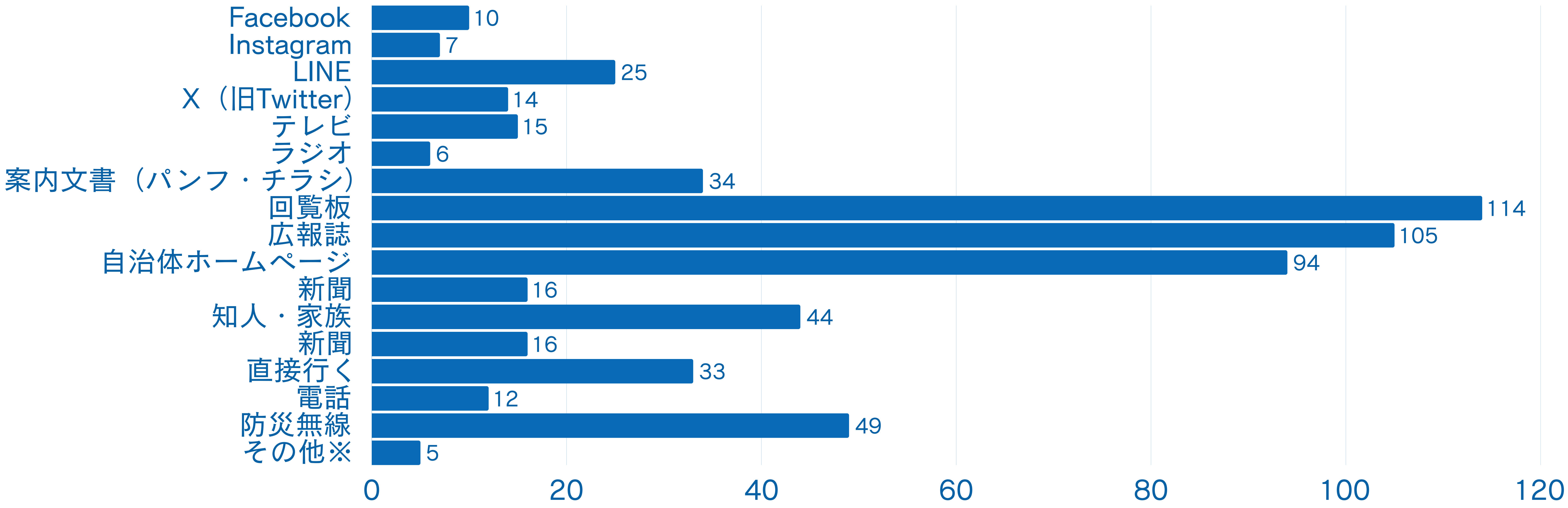
結果　最も多い回答はクレジットカード決済、次いでQRコード決済という結果となりました

CONTENTS

06

自治体の情報を入手する手段

Q.自治体の情報を入手する手段について、当てはまるものをすべてお選びください。



※その他の回答：回答なし(2件)、「見ない」、「引っ越したばかりで、よくわかっていない状況です」、「地域情報ウェブサイト、隣接自治体（特に皆野町）のホームページ」

結果 現在は回覧版や広報誌から情報を入手する回答者が多い結果となりました

CONTENTS

07

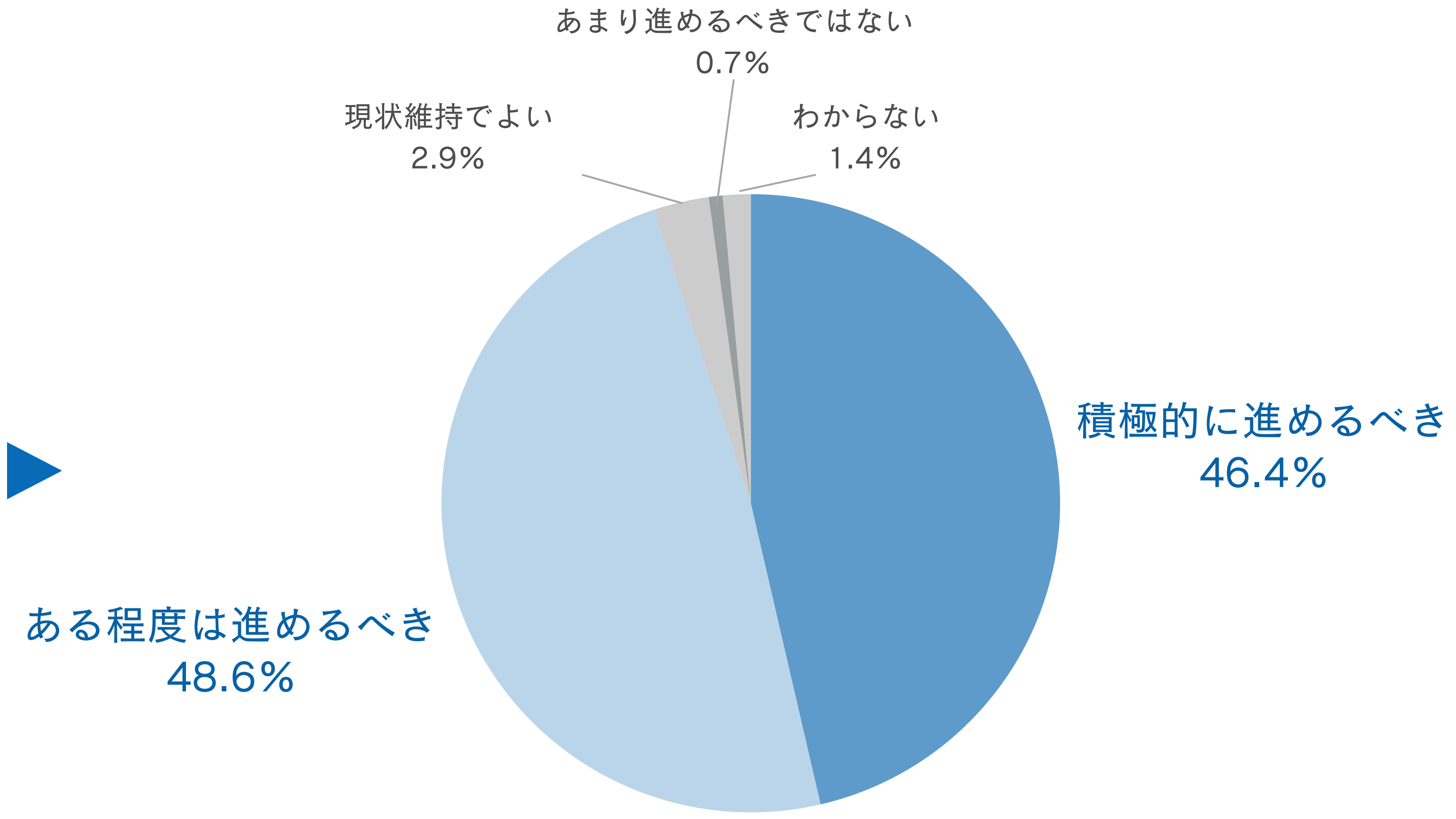
長瀞町がデジタル化を進めることに対する意識

Q.町が今後デジタル化を進めることについて、どのようにお考えですか。

回答	人数
積極的に進めるべき	64
ある程度は進めるべき	67
現状維持でよい	4
あまり進めるべきではない	1
わからない	2

回答者の**肯定派**

95%



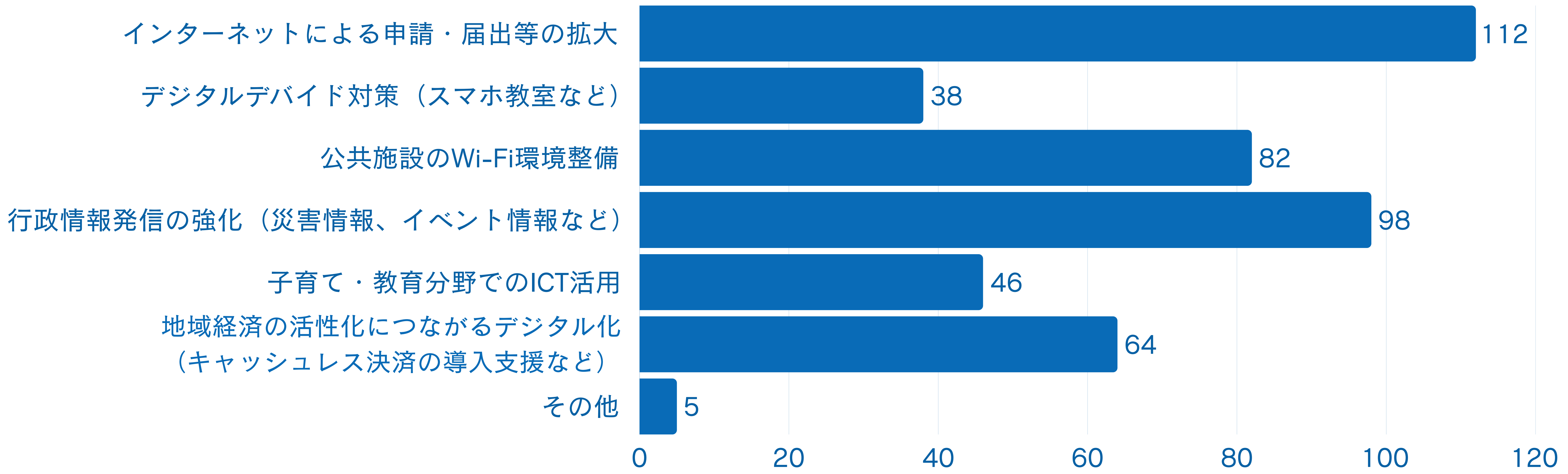
結果

回答者の95%が「積極的に進めるべきorある程度は進めるべき」と回答しており、DXを進めることに対して前向きな意識が伺えます

CONTENTS
07

期待する町のデジタル化施策

Q.あなたが期待する町のデジタル化施策について、当てはまるものをすべてお選びください。

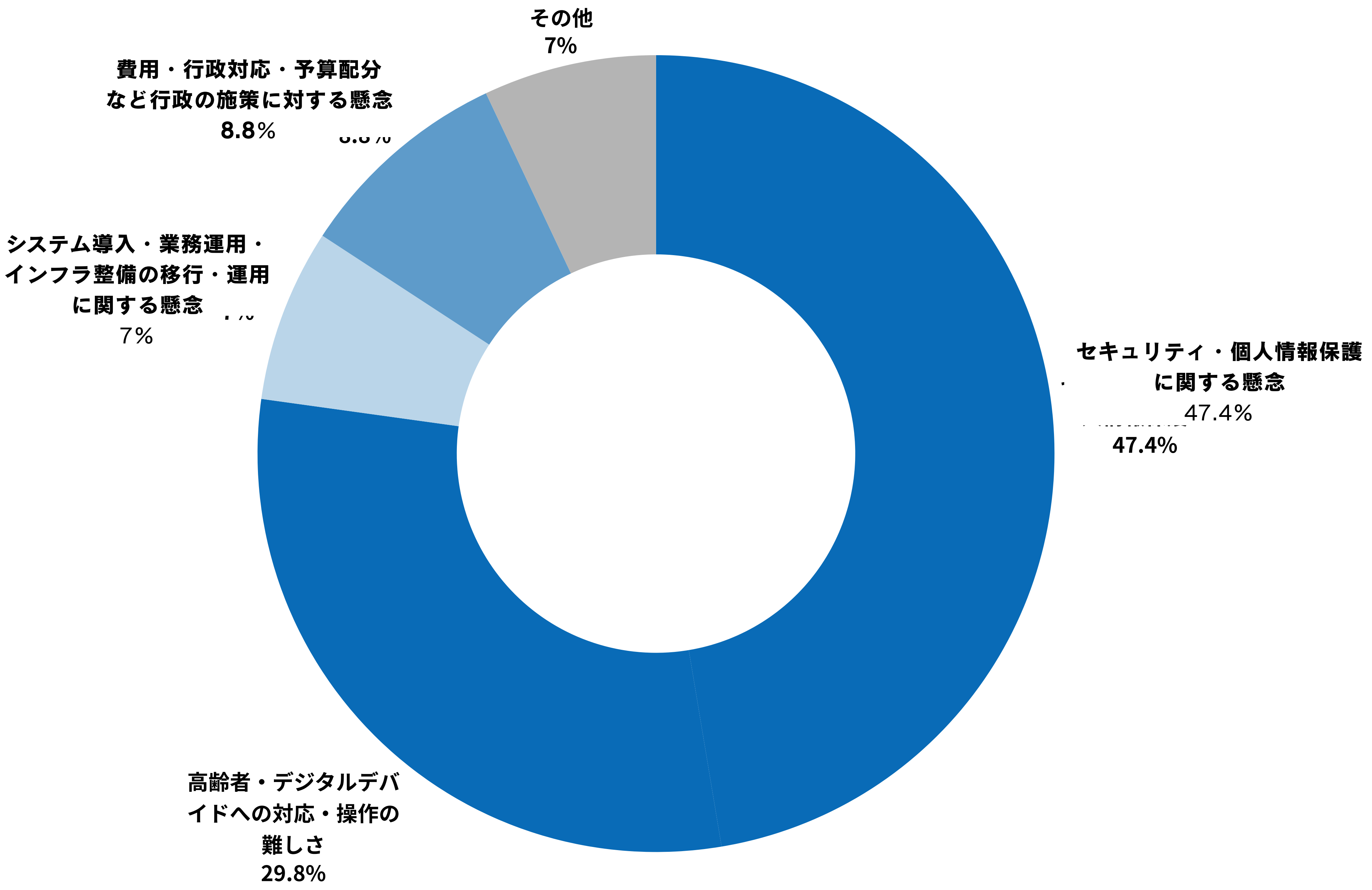


※その他の回答：回答なし(3件)、「ライドシェア 、AR観光案内、完全自動運転バス」、「LINEやメールなどにより回覧板の廃止。その他、区費などについてもPayPayや銀行振込など担当者が一軒一軒家を回るなんてことはしないで済むようなしてもらいたい。時代錯誤も甚しい。このようなことをアピールすることで外部からも移住者を呼び込む宣伝にもなると思う」

結果　**オンライン申請・届出への期待や、行政情報発信のデジタル化への関心が伺えます**

CONTENTS
08
町のデジタル化で不安に感じることや心配なこと

Q.町のデジタル化で不安に感じることや心配なことについて、ご記入ください。



カテゴリ	件数
セキュリティ・個人情報保護に関する懸念	27
高齢者・デジタルデバイドへの対応・操作の難しさ	17
システム導入・業務運用・インフラ整備の移行・運用に関する懸念	4
費用・行政対応・予算配分など行政の施策に対する懸念	5
その他	4

※なし及び空欄は78件でした。

CONTENTS
08

町のデジタル化で不安に感じることや心配なこと（回答詳細①）

Q.町のデジタル化で不安に感じることや心配なことについて、ご記入ください。

- 機器類の操作がだんだん億劫になってきている
- 年齢も50代後半。だんだんとデジタル化に付いていけなくなるのでは…と思ってしまいます。子供も家から離れ、直ぐに教えてもらえることも難しくなって来ました。積極的なデジタル化は、必要と思いますが、当たり前かもしれませんが出来るだけ分かり易く…と願わずにはいられません。
- 高齢化が進んでいるので、必要性を感じない。PayPayとかだと維持管理にお金がかかる。その経費を費やす程、進めなくてもいいのでは。
- 個人情報漏洩
- 長瀞町はあまりにデジタル化が遅い！
- 単身高齢者（身近に聴ける人が居ないと）がデジタル化についていけない場合
- 高齢者が多数を占める長瀞町で、予算を割いて積極的に推し進めるほどの施策かというと疑問も残るが、高齢者を置き去りにしないレベルで拡げていく事は若い世代の住みやすさにも繋がるし、必要な事だとは思う
- セキュリティ
- 業務がデジタルとアナログで増加するにではなかく移行期間をとった上で完全移行して簡略化できるところはした方がいい。出ないよ業務の遅れが心配される
- 災害発生時等の停電に対応できる体制づくりがあるのか
- 個人情報等の漏洩など、セキュリティー面でしっかり守られるのか心配です
- デジタルは便利ですが自分で求めないと触れる機会がなくなるので、紙媒体はある程度残した方がいい
- 個人情報が漏洩しないようにセキュリティを強化する必要性があります
- デジタル化に伴う高齢者への配慮
- デジタル化が進みすぎてしまうと、やり方などがわからず、内容について行けなくて不安を強く感じてしまう気がする。わからないので疑問点の聞き方すらわからない。
- 情報漏洩
- セキュリティの対策について、どこまで考慮できるのか？
- 情報の安全な管理に不安がある
- 若い世代の人にはとても便利かと思いますが、お年寄り(一人住まい)とかの方は、大変なのかなと不安は残ります
- サイバーセキュリティ対策はしっかり行なって頂きたいです。
- 暗証番号はまだ具体的には進めない方が良いと思います。
- フィシング詐欺や情報漏洩による被害など
- ない。トライアンドエラーでブラッシュアップしながらどんどん進めるべき
- 個人情報保護
- 高年齢者への対応
- 個人情報の流出
- 通信トラブル等の個人情報漏洩など
- セキュリティ管理に不安
- 個人情報流出
- 高齢化の一途を辿っているこの町で、デジタル化に付いていける層が多いとは思えない。スマホ教室を開いたとしても高齢者が行ける手段が限られている場合、スマホ教室を開く意義がない。またキャッシュレス決済導入も付いていける層は限られる。インターネットによる申請・届出等の拡大も同様である。公共施設の存続が危ういと言っても過言ではない場所が多いのに、貴重な町の財源を費やしてWi-Fi設備を整える必要性があるのかわからない。子育て・教育分野でのICT活用は本来の目的である勉学を怠る例が多くの学校で見られていて課題にしていることを知っている。まだ過渡期であると推測する。
- 皆野町や小鹿野町と比べてもルーズさが目立つホームページの現状をみると、失礼ながら情報発信そのものに対しての意識の低さを感じざるを得ません。
- 中途半端な導入は逆に不便になるのでやめてほしい
- 町民の20年後を考えた時に、少子高齢化がすすみ、新規移住者及び長瀞町出身者がどれくらいの人口を満たしているのか。その占いから考えたときにIT人材を町内に移住してもらうことがとても重要だと思います。テレワークが出来る環境のことを発信し周知してもらう。長瀞町は自然に恵まれていて、都心からも近くとてもよい環境であることから、都会の喧騒を厭い、自然を求める者への移住先としては好立地であることは明白です。
- 高齢者のとりこぼし
- 詐欺にあわないか心配
- 高齢者への支援や携帯電話などを持たない人の配慮をきちんとしてもらいたいです。
- デジタル化が進んだ場合、積極的に見ようとしないと情報が抜けてしまう可能性があると思う。自分がデジタル化に乗っていけるか心配。

CONTENTS

08

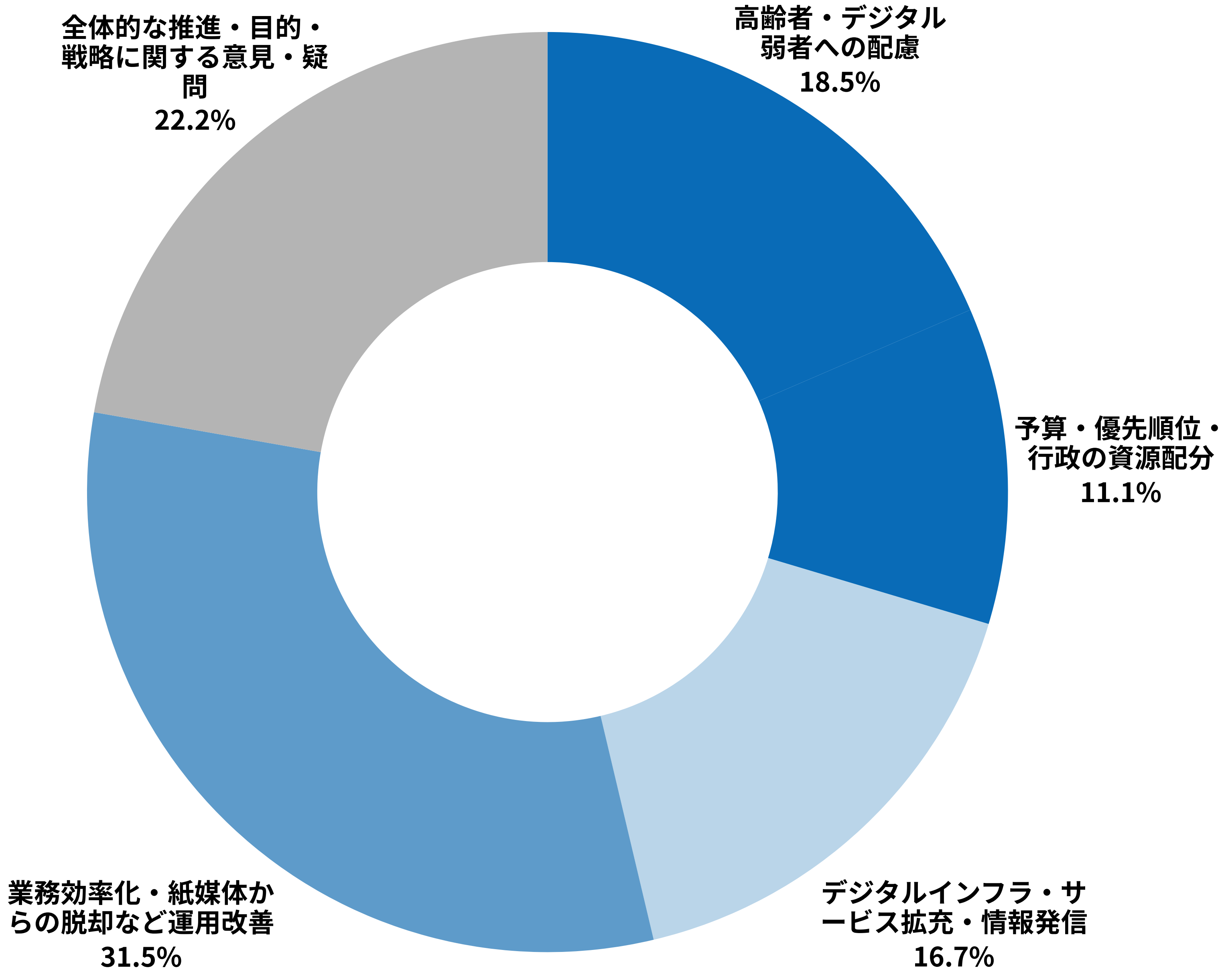
町のデジタル化で不安に感じることや心配なこと（回答詳細②）

Q.町のデジタル化で不安に感じることや心配なことについて、ご記入ください。

- 1番の不安はセキュリティや情報管理で、サイバー攻撃による情報漏洩。また、それに対応しうる専門知識をもった職員の採用、教育の充実が可能なのか？高齢化率が高い長瀞で莫大な費用をかけてITインフラを整備してそれを利用する町民がどのくらいいるのか？実際に役場に足を運んだ方が早い、わかりやすい等の理由でデジタル非利用者は必ずいるので、職員の二重対応の業務負担は増すのではと考えられる。ただ、昨今の世界的デジタル化の進化浸透は避けられない実情であるので、できるだけ早く準備整備して、段階的にデジタル化を進めてもらいたい。
- 一人暮らしなのでわからないことなどが出てくるのではないか等
- 期待してない。
- 地域によっては、繋がりにくい場所があること
- 高齢者が多く、デジタル化を受け入れられない人もいる。極端に進めるのではなく、アナログな方法も残してほしいを
- 個人情報の保護、セキュリティ
- 個人情報の流失、理解度の浸透等
- セキュリティ対策及び白岡市の様に事故等が有った場合に業務が遂行出来なくならないかの不安
- セキュリティ
- 高齢者にもわかりやすく進める
- 先ず庁舎内のディジタル化の進捗状況⁉
- 個人情報の漏洩
- デジタル化良いと思うが、高齢者にとってはハードルが高いと思う。まずめんどくさいが先立つ。
- 他の自治体を参考に積極的に推進する。
- 特にWi-Fi。災害対策として。
- 高齢化になり対応に不安
- 情報漏洩
- 個人情報の漏洩
- セキュリティ対策は、完璧にお願いします。漏れたら補償と責任をお願いします。
- 偽メールや怪しいデジタル販売など
- 高齢者でも　容易に活用が可能になればと思う
- 個人情報の漏洩や情報を見逃す可能性がある事の不安。全てペーパーレスにするのは問題あるかも？

CONTENTS
08
町のデジタル化へのご意見やご要望

Q.町のデジタル化について、ご意見やご要望があれば自由にご記入ください。



カテゴリ	件数
高齢者・デジタル弱者への配慮	10
予算・優先順位・行政の資源配分	6
デジタルインフラ・サービス拡充・情報発信	9
業務効率化・紙媒体からの脱却など運用改善	17
全体的な推進・目的・戦略に関する意見・疑問	12

※なし及び空欄は82件でした。

CONTENTS

08

町のデジタル化へのご意見やご要望（回答詳細①）

Q.町のデジタル化について、ご意見やご要望があれば自由にご記入ください。

- デジタル化はある程度進めて欲しいが、高齢者の方々をホローすることも考えて欲しい。
- デジタル化より他に町の予算を使った方が良いと思います。町自体暗いので街灯設置や波久礼駅近くの看板の色褪せなどなど。住みやすい町作りを宜しくお願いします。
- デジタルが苦手な年配者に優しい対応が出きるようなものにして欲しい
- 以前の町長の公約に長瀞町全域でのフリーWi-Fi実現との表示があったような気がするのですか可能なら実現して欲しいです。
- 各種申し込み、申請が窓口とか電話ファックスなので、せめてメール回答できるようにメールアドレスの添付ぐらいしてほしいです
- 効率を考えるとデジタル化を進めていくのは良いと思うが、町職員との対面で繋がっていくのも重要だと思う。町職員と対面することで、お互いが知っているのと知らないのでは親近感が違う。親近感を求めるなと言われればそれまでですが…
- 町内全域への情報伝達の課題改善方法
- 回覧板、町報等紙で貰うと必要な時に見れません。ぜひデジタル化で回覧板等無駄を省いてください。家にずっといるわけではありませんので鍵当番も知らないうちに来ています。それでちゃんとやれと言われても困ります。今は共働きの時代です。回覧版を回す手間も省きたいです。ライン等で配信していただければ十分ですし外出先でも見れます。お年寄りが多くて大変だと思いますが、これでは若い人が出ていってしまいますよ。ぜひご検討よろしくお願いいたします。
- DX化できるように頑張ってください
- 紙による申請をなくしてください
- そもそもこのアンケートが長すぎる。その時点で答えたい気持ちが薄れる
- デジタル化を維持するランニングコストが心配。コストパフォーマンスが良さそうな取り組みを少しずつ取り入れるのが良いかと思われる。
- 小中一貫に関して興味があり、ちょこちょこHPを見ています。HPをのぞいたら、このアンケートにたどり着きました。「見よう」としないと見れない情報よりも流れてくる情報になるとよいと思いました。一部の事業に限らず、情報が更新されたら見えやすい形が良いと思います。LINEやインスタなどのSNSでの情報発信は手元に届きやすいと思います。
- 回覧板の廃止をお願いします。高齢の方と若年層の者の考え方が大きく乖離しており、住みずらいと感じます。
- 行政だけでなく、観光やその他の事業においても進める必要があると思います。LINEが1番普及しているのでLINEから色々できるといいと思います。
- 回覧板や広報等もデジタル配信にして欲しい。区費等の集金もスマホで完結できるようにして欲しい。
- 40代でも行きやすい環境のスマホ教室があったらうれしいです。
- 出来る範囲で進めて欲しい
- 積極的な導入に期待したい
- 形だけでなく、費用対効果のある実益性を伴ったデジタル化を積極的に進めて欲しい。
- 地区で回している回覧板をデジタル化して閲覧できるようにして頂きたいです。
- 積極的に取り組んでほしい
- デジタル化で申請や届出、支払い等ができるようになれば、曜日、時間を気にすることがなくなりとても手間が省けます。是非取り入れてほしいです。
- 町外から引っ越して来ましたが、マイナンバーの更新などがすぐに出来れば良いと思います。
- 地域の回覧板などもデジタル化を視野に入れてほしい。アーカイブが見たいので。
- 現在共働きが基本で更には今後人が減っていく中で、一人一人の負担を減らすために回覧板や集金などはドンドン簡略化すべき。折角これだけ様々なデバイスがある中、時代錯誤のようなことをいつまでもしていると田舎が嫌になってしまい外に出る若者も増えると考えている。上記でも書いたが、このような取り組みを積極的にすることで外部の人間へのアピールにもなると考えている。実際、東京のどこかの市が昔「●●市には回覧板や隣組のようなものはないのでどーぞ皆さん安心して引っ越して来て下さい」とアピールしていたところがあった。近所付き合いも希薄化となり、寂しいことかもしれないがこれも時代の流れだと思う。常に考えをアップグレードして、時代の流れにうまくならないところは企業と同じ市町村も淘汰されていくと思う。
- 情報公開
- 回覧板にはその家によって必要不要の情報が多すぎる、紙の削減は必要だと思う
- デジタル化は必要だと思う。

CONTENTS

08

町のデジタル化へのご意見やご要望（回答詳細②）

Q.町のデジタル化について、ご意見やご要望があれば自由にご記入ください。

- デジタル化に舵を切ろうとする新しい試みは大変素晴らしいと思います。しかしながら高齢化が進むこの町でデジタル化を促進する事は喫緊の課題ではないと考えます。まずは外部から観光客がもっと来るように町内活性化をしなくてはならないと思います。そこで得た財源は明日を担っていく子どもたちのために教材用タブレット/PCの導入や学校等公共設備へのWi-Fi設置に使うべきです。そのタイミングであれば学生とタブレット/PCの接し方の解決策が見つかっていると思います。デジタル化よりも先に今この町で住む人がまともに過ごせるような政策を宜しくお願いします。
- 先ずは長瀞町ホームページの情報発信の遅延や欠落を解消して欲しいです。「デジタル化」は当り前の事が出来るようになってからでよいと思います。
- 町内会の会議や回覧板などもデジタル化にして欲しい
- 回覧物のデジタル化をお願いします。
- 町は予算の使い方をしっかり検討すべきである。
- 選択肢を増やす事は、大事だと思う
- 回覧板の頻度を減らして欲しい
- 町の広報誌の電子配布をしてほしい。移住促進、企業誘致など積極的にデジタル化してほしい。
- 安心安全メールを活用して、地域のイベント情報などをタイムリーにメールなどで流してほしい。
- 老人にもわかりやすい形でのデジタル化をお願いしたい。
- デジタル化を促進するにしてもデジタル弱者、特に高齢者を置いてきぼりにしない様にお願いします
- 独居老人が取り残されないように進めてください
- デジタル化の推進は必要であるが高齢者にもわかりやすく、ていねいにすすめる。
- 各職員毎に配置されているPC 等を利用した効率化、情報の共有で縦割りの仕事を見直し、効率化を図る。
- 対策が遅い。
- あまり関心はない、お金は、子育て支援などに回した方が良い
- 町独自の計画は行わない方が、良い
- 利用方法の分かりやすさが重要
- 信用できる業者への委託
- 完全な補償と責任を取って貰いたい。
- 年齢に関わらずまだ使っていない人が少ないだろうから、もっと使える人を増やす。
- 将来的には　高齢者等が心配なく　自然と操作が可能になる事がかんようと考察する
- デジタル化を進める目的は、何ですか？　省力化を進めた分、人手は減らすのですか？　最終的に出金が減らせなければ無意味と思います。
- 高齢者にも使えるように講習会を開く。
- 町から放送される音声はデジタルにしていただきたい。話方とか声とかとてもふゆかいに思う時があります。何度も放送しすぎる時もありうるさく感じる時があります。

はつらつ 長瀞

長瀞町